

科 目	学 部	学 科	専攻・コース	
小論文	家政学部	児童学科	—	
受験番号		氏 名		採 点

以下の文章を読み、2つの問いに答えなさい。

今、遊びに関する研究は国際的にも注目され、たとえばイギリスのケンブリッジ大学教育学部には、PEDAL という「教育・発達・学習における遊び」を研究するセンターがあります。また、「子どもの遊ぶ権利のための国際協会」(IPA = International Play Association) は2013年、国連子どもの権利条約第31条「子どもの遊ぶ権利」に関するジェネラルコメント（詳細解説）に加える形で「遊びの重要性に関する IPA 宣言」を出しました。そこには、ここ20年の世界各国の研究に基づいて遊びの重要性が記述されています。

- 概要を紹介すると、
- ・遊びは子どもに生きる喜びを与え、自らの文化や社会の中で生き抜くために必要な心身の健全な発達を促す。
 - ・遊びは子どもが自分で初めてコントロールして作っていく行動、活動またはプロセスである。
 - ・遊びは身体や人間関係、心の発達を促すために進化、発達してきたプロセスである。
 - ・体を動かしたいから動かしていることが、結果的に効率的で効果的な筋肉の成長や身体の健康、幸福、つまり、柔軟性や敏捷性、バランス感覚、調整能力や満足の増進につながる。
 - ・遊びによって原始的な感情（怒り、おそれ、嫌悪、ショック、悲しみ、楽しみ）を理解、調整することを学び、より細やかな感情（嘆き、喜び、不快、慈愛、満足、失望）の段階に入っていく。
 - ・遊びは脳の皮質結合や神経機構を促進する。遊ぶとき、神経は体に命じて、脳の発達を促し、柔軟性を高める神経経路を開拓させる。
 - ・目に見える特定の学習成果をあげることも、効果的な学習回路を作るのに役立つ。
 - ・人と遊び心のあるやりとりをすることで、人間関係や愛着、言葉や役割、また社会の構造について、正しく理解できるようになっていく。
 - ・遊びは子どもたち自らが遭遇する問題に柔軟に対応していく方法を身につけることを促す。

(中略)

しかし、一方、宣言において、「遊びは、子どもにとって取るに足りないものであると考えられ、大人になって仕事をするための準備やお勉強のような『もっと大切なこと』の邪魔になる必要ないものとして追いやられている」との指摘もされています。

※下線は出題者による。

出典：『やりすぎ教育』武田信子著（ポプラ新書）2021年、122-124ページ

問1 「遊びの重要性に関する IPA 宣言」の中で記述されている「遊びの重要性」の概要を読んで、「遊びの重要性」との関連からあなた自身の遊び経験について述べなさい。(300字以内)

問2 本文の下線部のような内容をふまえて、子どもにとって遊びのもつ意味について述べなさい。(600字以内)

科 目	学 部	学 科	専攻・コース	
小論文	家政学部	児童学科	—	
受験番号	氏 名			採 点

問 1

[illegible]

科 目	学 部	学 科	専攻・コース	
小論文	家政学部	児童学科	—	
受験番号	氏 名			採 点

問2

	◀100字
	◀200字
	◀300字
	◀400字
	◀500字
	◀600字